

第28回コンシューマーズカフェのご案内

「3.11から学ぶ放射能をめぐるリスクコミュニケーションー試行錯誤の歩みー」

2019年度も2018年度同様、よろしくお願いいたします。

くらしとバイオプラザ21では、第28回コンシューマーズカフェを2019年6月19日に行うことになりました。

今回は、量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所 前・放射線生物応用研究部長 小林泰彦様をお招きします。同氏は食品への放射線照射に関する市民との対話を続けてこられました。ことに2011年3月の東日本大震災以降は、福島原子力発電所の事故をめぐる放射能と食品についてのリスクコミュニケーションに積極的に関わってこられました。くらしとバイオプラザ21でも、2011年4月にバイオカフェでお話しいただきました。多分これは震災後、最も早く実施できた、食品中の放射物質に関する、市民を巻き込んだリスクコミュニケーションのひとつでした。

3.11から8年たった今も風評被害などで苦労している事業者がおり、もやもやと不安を抱きつつ食品を選んでいる消費者もおります。実際に関わってこられたリスクコミュニケーションをご紹介いただき、そこにある問題点について、参加者全員で考え、話し合いましょう。どうぞ、お誘い合わせの上、お出かけください。ご参加お申込みをお待ちしています。

日時:2019年6月19日(水) 13:30~15:30

場所:くすりの適正使用協議会 会議室(東京都中央区日本橋小網町12-7 日本橋小網ビル3F)

<https://www.rad-ar.or.jp/council/access/index.html> (同協議会は移転しました)

地下鉄日比谷線 人形町駅 A6 出口から7分、茅場町駅 1番出口から7分。

プログラム:

13:30~ 開会

13:40~ 「3.11から学ぶ放射能をめぐるリスクコミュニケーションー試行錯誤の歩みー」

講師 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所
放射線生物応用研究部 小林 泰彦 氏

14:40~ 質疑応答

15:30 閉会

参加費:くらしとバイオプラザ21会員(正会員および協力会員)は500円、非会員は1,000円
(資料代・ドリンク代。当日、会場にて集めさせていただきます。)

参加申込み:申込み先着15名。ご参加希望者はmail、FAXにて、「第28回コンシューマーズカフェ参加希望」と明記し、①住所(電話番号、ファックス、E-mail)、②氏名、③ご所属を記入しお申し込み下さい。お申込み受け付けmailかFAXが3日以内にくらしとバイオから届かない時はご連絡下さい。

申し込み/問い合わせ先:くらしとバイオプラザ21事務局 担当 佐々・田中

〒103-0025 中央区日本橋茅場町3-5-3 日宝茅場町ビル8階

tel 03-5651-5810 fax 03-3669-7810 E-mail bio@life-bio.or.jp

(当日 12:30以降のご連絡は090-8512-7944まで)

第 28 回コンシューマーズカフェ参加申込み書

FAX 03-3669-7810 E-mail bio@life-bio.or.jp

コンシューマーズカフェ 2019年6月19日に参加申込みをします。

年 月 日

フリガナ 氏 名	
連絡先 (初参加の方のみご 記入下さい)	tel/fax
	E-mail
ご所属 (初めての方のみご 記入下さい)	
その他 連絡事項	

今までに開催されたコンシューマーズカフェ

- 第1回「消費者庁における情報の一元化の現状と課題」全国消費者団体連絡会 事務局長 阿南 久さん
第2回「健康食品の問題点と今後のあり方」(独) 国民生活センター商品テスト部調査役 宗林さおりさん
第3回「今、問われる消費者の役割」コープこうべ参与 伊藤潤子さん
第4回「農薬、放射性物質の基準はどのように決められるか？」日本獣医生命科学大学名誉教授 鈴木勝士さん、
コープネット事業連合品質保証部長 太田憲治さん
第5回「食のリスクコミュニケーションの実践～食品安全委員会の活動から」食品安全委員会委員長 小泉直子さん
第6回「食品表示から考える」日本生活協同組合連合会 安全政策推進室 室長 鬼武一夫さん
第7回「フーコムネット設立1年～科学的な食情報を消費者に届ける苦闘を振り返る」科学ライター 松永和紀さん
第8回「食品安全委員会の明日～BSE 対策の見直しを含め」内閣府食品安全委員会事務局長 姫田尚さん
第9回「GM作物の誤解」毎日新聞社 小島正美さん
第10回「これからの農業と食料について考える」宮城大学食産業学部フードビジネス学科教授 三石誠司さん
第11回「食品の機能性表示のこれから～グローバルな視点から考える」グローバルニュートリション顧問 高橋迪雄さん
第12回「不安の構造 リスクコミュニケーションはなぜ失敗するのか？」食の安全・安心財団理事長 唐木英明さん
第13回「遺伝子組換え技術の食品および食品添加物への安全性確保」明治大学農学部教授 中島春紫さん
第14回「新しい育種技術(NBT)をどうとらえるのか」農林水産省技術安全室室長 鈴木富男さん
第15回「遺伝子組換え作物・食品の安全性確認」東京農工大学教授 小関良宏さん
第16回「機能性表示食品制度が始まって」グローバルニュートリショングループ代表取締役 武田猛さん
第17回「食の安全～地方衛生研究所、食品安全委員会、クドア」川崎市健康安全研究所長 岡部信彦さん
第18回「新規技術のリスクにどう向き合うか」東京大学公共政策大学院 特任教授 岸本充生さん
第19回「機能性表示食品を評価して～ASCONE 科学者委員会報告書を中心に」消費者市民社会をつくる会
(ASCONE) 代表理事 阿南久さん
第20回「食品の放射性物質のリスク～消費者意識調査からわかったこと」東京大学食の安全研究センター長 関崎勉さん
第21回「食品表示の意味を考えよう～加工食品の原料原産地表示を中心に」消費生活アドバイザー 森田満樹さん
第22回「農業分野におけるゲノム編集技術とその規制をめぐる国内外の動き」名古屋大学教授 立川雅司さん
第23回「意外と知らない「学校給食」の真相」(株) 菜友 プロダクトマネージャー 吉田達也さん
第24回「遺伝子組換え農作物の規制の動向と課題」農林水産省 消費・安全局 高島賢さん
第25回「科学技術の受容における市民の心理～放射線からゲノム編集まで」大阪学院大学 田中豊さん
第26回「ゲノム編集農作物をめぐる国内での規制について」筑波大学 教授 大澤良さん
第27回「食品表示に関する考え方」日本生活協同組合連合会 品質保証本部 中川英紀さん